



大建発 第 34 号  
平成 19 年 4 月 25 日

国土交通省道路局長 殿

大槌町長 山崎 三雄



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

平成 19 年 4 月 2 日付け、国道企第 114 号で依頼のあったこのことについて、下記のとおり回答します。

### 記

#### 1 今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

##### (1) 重点化を進める上で特に優先度の高い政策について

まず最優先にあげたいものは、三陸縦貫自動車道の早期完成である。

本縦貫道の完成によってもたらされる効果については、企業誘致も含めた産業振興とその活性化、三陸産物の首都圏への迅速な出荷、風光明媚な三陸沿岸地域への観光客数の増大など数えきれず、また、近い将来高い確立で発生すると予想されている宮城県沖地震対策等への防災や県内の高度医療施設へのアクセス道路として重要な役割を担うものである。

本事業の効果発現とあわせながら地域住民の英知を結集させ、現在沿岸地域がおかれている、首都圏や県央との所得格差を少しでも是正し、さらに県の保健医療計画と整合を図ることにより三陸沿岸の医療環境の飛躍的向上が図られるものと確信する。

##### (2) 効率化を徹底的に進める上で重視すべきことについて

まずあげられるものは、既存道路ストックの恒久的維持管理である。

道路資本については、今日の日本の発展を現在まで脈々と支えつづけてきた重要な分野であり、災害の多い国土の復旧等も道路ネットワークが、ソフト・ハード両面で支えてはきたが、その維持管理経費は少なくはないと認識している。しかし、現在の大変厳しい社会情勢下にあって、道路維持コストの縮減を余儀なくされてはいるが、管理の仕方によっては、多大な改築コスト等が必要となるケースも予想されるため、道路維持費の安定的確保及び計画的配分が効率化の最大のポイントと考える。

##### (3) その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

地方道路整備臨時交付金制度の維持・継続・拡充が必要である。

上記(2)にも関係するが、今後当町においては「効率的な道路維持管理の推進」の観点から、橋梁の維持補修、舗装補修、日常管理及び小規模維持修繕等の維持修繕事業へ大きくシフトしていかなければならない状況にある。また、それと平行して、市街地低地部と河川対岸高地とを結ぶ緊急輸送道路も兼ねた橋梁の新設計画などがあり、地方道路整備臨時交付金事業に係る需要は今後も増加傾向にある。